

請願の採択を求める討論 さはしあこ議員 (3月18日本会議)

運動場が基準 (10㎡程度) より小さいままでいいのか 児童増加でますます狭くなる大高南小学校

11月議会閉会から2月議会開会までの閉会中に、各委員会で請願審査が行われました、このうち、日本共産党が採択を求めたにもかかわらず、「不採択」や「審査打ち切り」となった請願について、本会議での採決が行われました。「大高南小学校の運動場」にかんする請願についての、さはしあこ議員の討論を紹介します。

児童倍増でますます狭くなる

大高南小学校は、児童の増加にともない、運動場にプレハブを建てたため、今までより、運動場がせまくなっています。数年後には、児童数が倍増となる見込みで、さらに今よりせまくなる見通しです。

基準以下の学校が市内で50も

私は、昨年9月の定例会で、子どもたちがのびのび走り回れる広さを確保するために、限られた敷地の中だけの対策だけでなく、周辺の土地の活用も含めて考えてほしいと求めました。



大高南小学校だけの問題ではありません。名古屋市内には、いくつもこうした学校があります。学区連絡協議会やPTAのみなさんが、何年にもわたり、せまい運動場の抜本的改善を求めてきた地域もあります。急いで具体的な対策をとる必要があるのではないのでしょうか。

隣接地活用など具体策も提案

本請願は、子どもは「地域の宝」との思いで活動されている、大高南学区のみなさんによる、小学校の隣接地の活用という、考え抜いた具体的な提案です。

運動場の整備は、名古屋市が解決する喫緊の課題と申し上げて、討論を終わります。

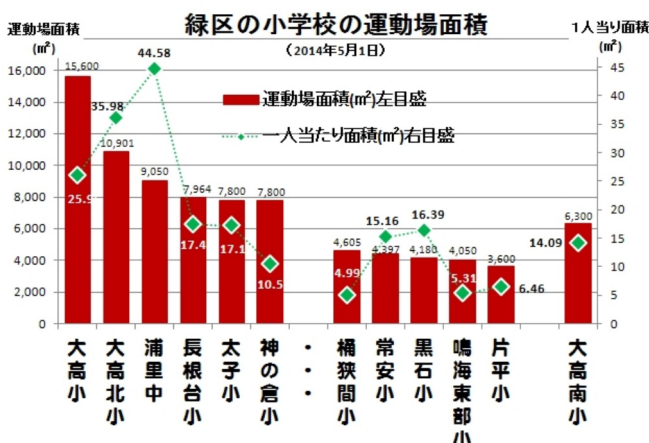
自公民減などが不採択に

請願は、採決の結果、自・民・公・減・維の多数で不採択になりました。

↓大高南小学校と運動場



↑JR東海道本線



小・中学校設置基準 (平成14年3月29日文部科学省令)

	児童数	面積 (㎡)
小学校	1人以上240人以下	2,400
	241人以上720人以下	2,400+10×(児童数-240)
	721人以上	7,200
中学校	1人以上240人以下	3,600
	241人以上720人以下	3,600+10×(生徒数-240)
	721人以上	8,400